

あなたの老後の生活 想像できますか Q & A

カ ン タ ン

やさしい
年金講座(その96)

東洋紡の企業年金のしくみについて

Q

東洋紡には、企業年金基金制度がありますが、どのようなしくみなのでしょうか？

A

東洋紡企業年金基金は「確定給付企業年金法」に基づく企業年金制度で、平成17年3月31日に、「代行返上」の認可を受け、従来の「東洋紡績厚生年金基金」の制度より移行してスタートしました。

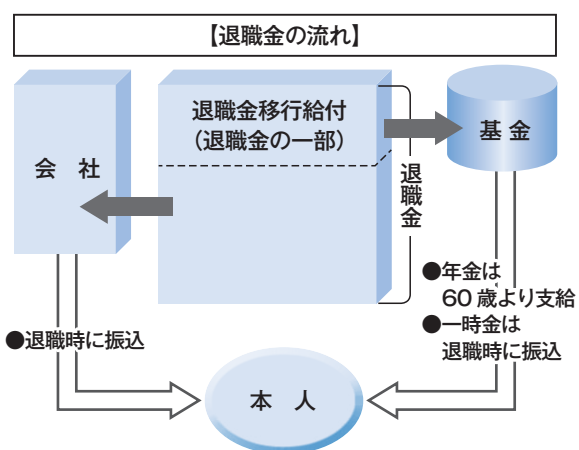
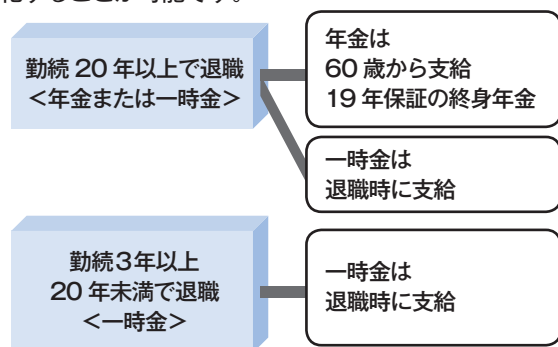
現在の、東洋紡企業年金基金は、会社の退職金の一部を年金または一時金で支払う「退職金移行給付」制度です。企業年金基金から受け取る方法は、勤続20年未満の方は一時金で全額受け取り、勤続20年以上の方は、60歳支給開始の年金あるいは一時金として受け取ることができます。

年金選択の場合は、「19年保証終身年金」でお支払いします。

◆ 退職金移行給付のしくみ ◆

退職金移行給付とは…

退職金の一部を支給する部分です。20年以上の勤続者に関しては、年金化することが可能です。

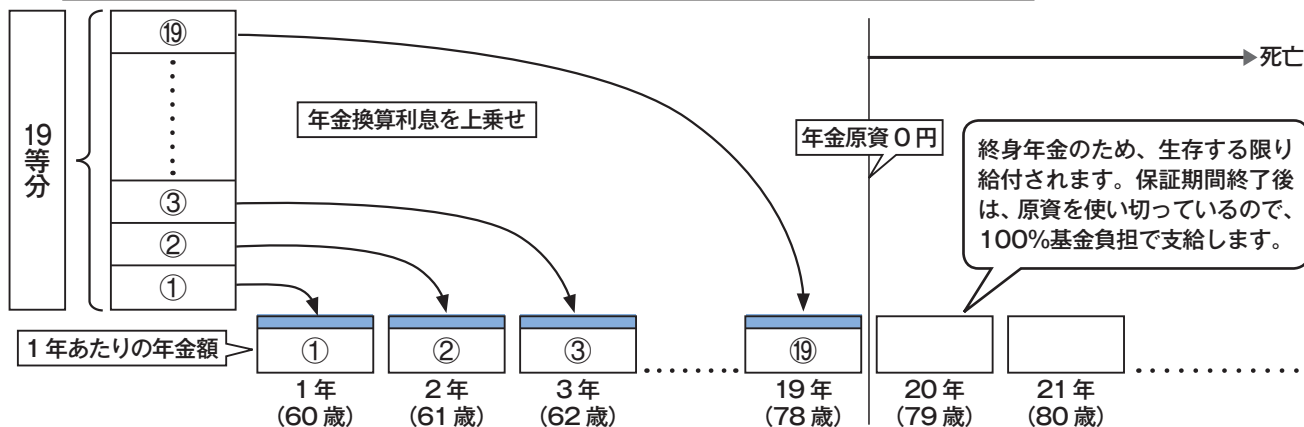


◆ 19年保証終身年金とは ◆

退職金移行給付額は、勤続年数と退職時基礎基本給で決定します。

勤続年数	退職金移行部分 (上限額)	年金 (年額)
定年 (60歳退職)	9,874,000円	769,700円
自己都合 (56歳退職)	1,210,000円	112,500円

年金給付にすると…



*退職金移行給付額は、退職時の基礎基本給、勤続年数、退職理由によりそれぞれ決定されます。

*勤続20年以上で、「年金」を選ぶ場合は、60歳から受け取るようになります。

年金として受け取る場合は、退職金移行給付の全額、75%、50%、25%の割合で選択が可能です。